

【刊夕】日七十二月八

定部一 部金貳錢 一月十五錢 郵費五厘
 告別五號 31字 行5錢 日祭日休刊
 發行兼編輯人 川崎 文治
 福島縣郡平町長崎三町五
 常警日新報社 電話三〇六
 常警日新報社 印刷株式會社

明新再度平町に 産業博覽會の企劃に就て

郷土の諸卿に訴ふ (二)

伊 東 一

然も此等の物品は我等郷土人が協力研鑽事に當れば其手に製産可能なるものである。試に數へんか石城は年に二三十万圓の賣藥を購つて居る、此純利十四万圓は無駄に他國へ持ち行かれて居る。岐阜提灯の輸入は年十數萬圓である、是等大分の手間は石城郡が支拂つて居る。化粧品は其利賣價の六七割を占むる年數十萬圓の利は東都の化粧品店を益して居る、菓子如きでさへ年何十萬圓と購入して居るのである、之を思はんか、製産なき石城人は何れの日か子孫の繁榮を期する事出來るで有るか。漂々たる太平洋の鰯、鯉、秋力魚は石城七濱の無限の寶である。誰か是れを加工し四季に適して誇とする、食料品を考案する人はなき哉、野菜の下落に嘆く農家に酒醸地たる石城に多數人の好物たる糠漬さへ造つて輸出する事を爲さぬのである。夏

天惠ある郷土に有つて其製産力の等閑にせらるゝは進取の氣性なき石城人の憾である、若し今にして發起せざらんか石城人は滅亡あるのみである。前述の如く幾多の概況を閱すれば有利なる投資事業多く家庭産業亦多しである。此意味に於て産業博覽會は商工業の良き生産資料であり参考展示場である。微力聊か以て我郷土地方人を覺醒刺撃し以て幾分貢獻せんと欲す。余の多年各地に博覽會を興す

水明夏行句抄 (第二回)

金 成 上 鶴
 電柱のペンキ藜になかれけり
 湯疲れを藜の冷に句念かな
 夏帽の楡櫃にそうて入りけり
 山 下 率 賓 子
 噴水に口づけて居り夏帽子
 藜の葉たためてる手の汗ばみぬ
 のぼりくる人に夏帽ふりむたり
 金 成 喜 山 郎
 夏朝に睡すしき夫人かな
 石に立ちて釣する人の夏帽子
 長霖に畑の藜はのふばかり
 梨小舎をめぐりて茂る藜かな
 阿 部 芳 月
 照り續く路へのあかざ埃めく
 海へ行く自動車混みて夏帽子
 夏帽子ぬぎて汗ふく樹蔭かな

季節料理

うな井 0.50
 うな重 0.70

平田町(錦水隣り)
 かば焼 魚 榮
 電 4 2 4

事拾數回、陸海軍省を初め各企業家の後援からず爾來若槻總理大臣の參觀せられし事二回、俵商相の參觀一回、各政黨大臣の祝辭祝電を受ける事數十通、昨夏樺太に於ては濱口首相より懇厚なる祝辭を寄せらる然と雖も何れも其主催地方人の絶大なる援助協賛の賜なるは言を待たず。余は今回此計劃を企つに當り其計畫と施設に萬遺憾なき抱負を有すと雖も其出品の勧誘に至つては已個人のよくする處に非ず、就中各府縣の出品物を勧誘出陳せしめんには是非共地方的協力後援の賜なくんば絶對に不可能なり、即ち一に地方當局即ち平町役場、平町長、平町會議員諸卿の意向に依るのみ是が亦後援を得んには平町全町民諸君の應援に依る處とす。再び訴ふ是非贊助後援賜らん事を重ねて希ふ次第である。(をばり)

文藝募集

り、即ち一に地方當局即ち平町役場、平町長、平町會議員諸卿の意向に依るのみ是が亦後援を得んには平町全町民諸君の應援に依る處とす。再び訴ふ是非贊助後援賜らん事を重ねて希ふ次第である。(をばり)

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院
 福島縣平町五ノ廿八
 産婆 關口 悦子

特卸治療 福島縣平町五ノ廿八
 約代理 福島縣平町白銀町九
 販理部 産婆 關口 悦子
 賣部 産婆 關口 悦子

定價表
 金拾參圓 藥及特效五週分付
 金拾圓 藥及特效五週分付
 (說明書呈)

市原醫院

平町田町
 電話一四番

賞つて重寶 贈つて便利な
 三井の商品切手
 平三電 三八番

美味! 芳醇!

宗正らいた

山崎合名會社 電話一〇番

御 中 元

來る廿二日より廿七日迄
 時計、眼鏡、貴金屬類
 其他……正札の
 壹割引大賣出し
 特に修繕物は勉強致します

星野時計店 (平三丁目ルビ向ヒ)

木村病院

平新川町十九 電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
 内臟外科 醫學士 松永憲一
 整形外科 醫學士 萩原駿二
 藥局 東京藥學士 萩原駿二

平町に於て最初の

模型飛行機の競技

來月廿日平第一校々庭に

△今や正に征空時代

一九三一年は正に征空時代世界の眼は悉く天に向つて注がれて居る……従つて飛行機熱が素晴らしい勢いで普及した結果

各地に於いては相次いで模型飛行機の競技會催され征空思想の發達に寄與する處多大である、平驛前のいづみや玩具店にても此の催しのトツプを切るべく既記の如く計劃中であつたが愈々諸般の準備成り來月廿日平第一小學校庭に於て本社應援の許に

第一回 郡下模型飛行機競技大會を開催する事に

決定した、審査は距離及び耐空時間に依つて結果を定め優勝機には左記賞品
(一等)美術置時計(二等)大正琴(三等)活動寫真機(四等)ハーモニカ(五等)小型カメラ、等外者にも全部記念品を贈呈を贈る由にて参加申込者は開催前日迄に同店へ申出て参加券を請求せられ度しと尚ほ其他詳細は

同店に問合さるゝが便宜であらう。最初の催しだけに多大のセンセイションを捲き起すものと期待されて居る

弔鐘を合圖に

一分間の黙禱

平町と震災記念日

に相當するので平町役場では福島教化團體聯合會及び市内各學校、青年團、青年訓練所等と聯合して弔鐘當時を偲び人心の緊張を圖る豫定であるが大體當日は教化團體聯合會のポスターを各區に配布する外各學校青年訓練所等にては震災に關する講話及黙禱を行ひ一般家庭では當日大震災を生んだ午前十一時五十八分を期して寺院の鐘、太鼓を叩き一分間の黙禱を行ひ犠牲者の弔慰を行ふ等の計劃であると

復興章を授與

平町 長橋町六五現東京市役所土木課技師山崎長三郎氏は東京市の復興事業に其技術を發揮し難事業たる復興工事に盡力しつゝあつた功勞に

依り今回東京市の帝都復興記念章を授與される事になつたと

上小川村農況

石城郡上小川村の水田の早稲愛國種は既に出穂揃ひとなつたが中稲の出穂も數日を出でず出揃ふ見込みであり一

秋蠶相場は上向か

生産制限の品不足と繭質稀れに見る良好

石城郡下の秋蠶は目下何れも上簇最盛期にあり早きは既にボツ／＼出廻つたがその筋の觀測によれば今年は生産費節約の生産制限を極力奨勵した爲め收購は大體昨年より三割減の五萬貫位で繭質は稀れに見る良質であるから相場は上向きを呈するものと見られ大體二十六七圓を前後し掛目は二十八掛見たうであらうと早くも……

青田の賣買

僅に十三圓で

盆の支拂に當てる石城地方では各町村の不況盛々深刻化し年末以外に慣例のない貧困者の特別救済

今日話

シカゴ、トリビュン紙の報ずるところによるとエドナ・ウォーレン・ホツバアといふ六十歳になる老嬢は、皺一つ寄らず、白髪一本なく、實にみづみづしく、全米に於ける全くの神秘だと稱せられてゐるさうである。彼女は本とうに若々しく十六歳にしか見えないといふのだから驚いたものである。また單に容貌が若いといふのみならず、身體もしなやかで、最近も公衆の面前でアクロバチック・ダンスをやつてみせたが事實上、二十代の婦人でなければ出來ない藝とさうださうである。

方畑作も今度の降雨でいづれも蘇生し不作と見られた岡稻の如き降雨の爲め六七分の作柄迄にこぎ付けの模様である

豐間校同窓會

石城郡豐間村小學校では來る廿九日午後一時より同村小學校講堂に第四回同窓會を開催するが當日は同校出身で目下茨城高等農林學校教授たる文學士鈴木傳三郎氏の歸郷せる歓迎會をも兼ねて行ふと

謹告

舊盆祭りに付き従業員慰安の爲め廿八九の兩日臨時休刊仕候間御諒承願上候
尤も大事件等突發の際には直ちに號外を以つて速報可仕候
八月廿七日
常磐毎日新聞社

平町人事

△長橋町廿一 當時東京府下北豊島郡尾久町上尾久 佐々木喜衛門氏 四女八重子
△出 生
△死 亡
△舊城跡 當時神奈川縣横濱市中區濱松一四六竹サイ(五七)

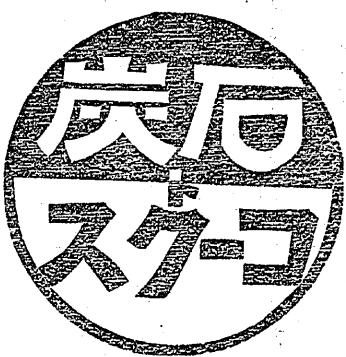
専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ!
此レ程良イ石炭トハ
思ハンカツタ
品ガ良ク
値ガ安ク
經濟的ニハ正ニ、
百パーセントダ



モシ〜電話二三七番デスカ
早ク一俵御届ケ下サイ
平 停 車 場 前

阿部石炭商店

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

大和田醫院

平南町 (電話一七〇番)

失戀の酌婦が

名も知らぬ男と情死

相手に逃げられ急に

死ぬのが嫌になつて

河岸にはひ上る

石城郡湯本町入山第四坑當時仙臺香町一七料理店鶴の家の酌婦安田ます(二〇)が廿五日午後十時頃仙臺市廣瀬川で知らぬ男と情死を企てたが相手の男に逃げられたので死ぬのが嫌になり涼しい顔をして這ひ上がり巡査に

保護され たといふナシセンス、まは小名濱で酌婦をしてる當時富田彦治といふ青年と戀仲となり思ひが叶つて身受けされ楽しいホームを作つたのも東の間年の春富田と別れて前記鶴の家に住み込んだが富田の事が忘れかね、數次ぶん通してゐたが最近絶交状をつきつけられ、まはは極度に失望し二十五日午後九時頃黒髪を

上下小川村民が

盆休みを利用し

墓地掃除や 奉仕

石城郡上下小川兩村にては盆休みを利用し各戸から一名宛出動し廿五日は村内各寺院墓地の掃除を爲し廿六日は各道路の行通上支障の個所を修理したと

皆殺したと

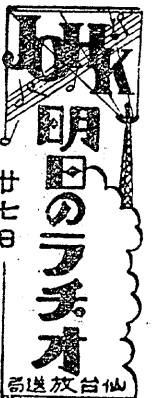
をどり込む

日本刀を抜き放して喧嘩の恨みに石城郡錦村大字江栗字馬場

平窪村で

陸水兩競技

石城郡平窪村にては来る二十九日午前九時より体育奨勵の目的にて陸上水上兩競技を催すが場所は陸上競技場平窪小學校庭、水上競技愛谷堰である出場選手は青少年男女を歓迎すると



明日のラジオ 七十七日 報豫

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 童謡と長唄池村阿加代外 後六、三〇 趣味の科學知識「精神の遺傳と優生學」 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河

明日の部

前六、〇〇 ラヂオ体操 前六、三〇 夏期英語講座

題は「滿洲土産總征伐」である

留守別荘に

小娘一人暮

町本町通り白井別邸の留守邸に昨今誰か住み込んだ氣配がある。四ツ倉署で調査した處意外にも同町佐藤留吉姪大和(一)と一週間に住込み一人暮らしをしてゐたものと判り流石の警官も呆氣に取られて二十五日件の小娘を留吉に引渡した

野菜賣りの老爺が

病を苦しめて縊首

屍体の傍らに 他には關係なしとの遺書

平町鎌田町野菜行商菅野庄八(八)は豫てより脳病に冒され其日の生活にも窮して本月初旬より湯本町字八仙に居住する長男國雄

「初等科」(十五)武井亮吉 前九、〇〇 氣象通報 前九、一〇 料理献立 一

「洋服補綴」(八) 高木美代子

「洋報」(八) 高木美代子

「洋報」(八) 高木美代子

「洋報」(八) 高木美代子

「洋報」(八) 高木美代子

「洋報」(八) 高木美代子

河北新報社ニュース 後五、四五 今晚の番組豫告

後六、〇〇(子供の時間) 海の便り山の便り發表

後六、三〇 趣味の科學知識「死後の生命」(其一)

小熊虎之助

後七、〇〇 全國ニュース(官廳ニュースを含む)

河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生齋相場

後七、三五 講演「娛樂としての舞踊」小寺融和

後八、〇〇 俚語 仙臺木

後八、〇〇 俚語 仙臺木

後八、三〇 ラヂオドラマ

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他

「喜劇」愚弟賢兄 花柳章太郎其他



踊りの白夕比

一足十錢

モリタヤ洋品店

5丁目 電353

小説

七五郎

(二十二)

渡邊默禪作
布施平八郎畫

【載轉禁】

俠妓歌治 (8)

縁側のところに立つて呆れて覗いてゐた歌治は、お銚子がはりに出て来た女中に然う言つた。と女中は「いけないのよ。早乙女さんがね残しといつて呉れと被仰つてらつたの。お座敷が變つてよ。」

「然う……どちら」
「離亭よ、別にね、新規のお連が二三人あつたの。貰ひが懸つて来てもお前さんだけは歸しちゃいけないつて堅く言つてらんだから駄目よ、見込まれつちやつたんだわ、ちよいと。」
「有難くできてゐるわね、ちや大まかに勉強しませうか景氣直しにね、ホ……」
「餘儀なく踏止まつたもの、その座敷に入る勇氣もなかつた。で庭口へ出て茶寮の方へ行くと、アーク燈の青い光にそよ若葉のむせかへるやうな匂を木下閣に漂はせて、遅れ咲きの櫻の落花が雪のやうに足もとに飛んで来るのが名残ちがい晩春の夜の姿を艶なる夢のやうに化粧してゐた。」
茶寮のなかに入らうとして沓脱石に片足を踏みかけた歌治は、室内から洩れて来る話聲に不圖刺されて

「おやと吐胸をつくと共にみいらになつたやうにたえずんだ。」
「いや、競賣をさせつちまつたと言ふのはウソです、延期でだらりとと繰延べて、その都度済し崩しに絞つてやるんですよ。さうしなけりや甘い汁を吸へる

やうなものですね……。」
誰あろう、それが戀男の源之助とよく遊びに来た十文字の支配人川島ではないか歌治は息の根を殺して身動きもせず耳をそばたてた。
「併し只切換の手数料ぐらゐで延期を何度もされちやあ敵ひませぬ、川島君のことだから其處は如才なくやつて下さるでせうけれど、五萬とか六萬とか大きく纏めてチョイ／＼吐き出させて下さらなけりや、お互に詰らないぢやありませんか。」
さういふのが早乙女であつた。と川島が、

行くだけの餘裕がない譯ぢやありません、だが悠々深手を負つちやあなまじ活して置くだけ苦痛をまさせるばかりですから、一思ひにトメを刺した方がよさうに思はれますが、如何でございませぬか。」
「それは然うだ、君の言はる通りその方が我々の後腹も病めないしさつぱりするよ。」
早乙女が言つた。
「だが如何だらう、他の債権者が配當加入だの照査だのツテ制込んで来ると面倒になるが、その方の防ぎがついてるかね。」
といふのがシャガレた聲だつた。



「そりやあ、私に委しときなさい、決して悪いやうにはしませんから。」
「一段聲を低くして、今のところ整理をしたら負債全部を綺麗にたづけても、まだ營業を繼續して

もんぢやありません……。」
さう言ふのが聞き慣れないシャガレた聲だつたけれど、その尾についた一語が彼女を驚かした意外の人の聲だつた。
「まるで肉汁をこしらへる

カクテル
17キタヒロデン352
レストラン

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電一七〇

「いや、それは心配ありません、金高も知れたものですし、皆な好人物の方ですから、泣きを入れさへすりや如何でもなりますよ。」

婦人用傘特價品提供ツルヤ
十九錢 一圓 一圓十五錢
電140

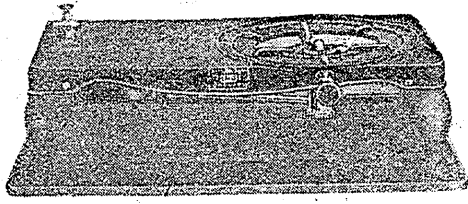
印刷物の御用命
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

瓦斯や電熱より經濟で便利な變性アルコールを燃料とする尖端的の特許
自家瓦斯發生器生る

- ▼本器の使命
- ▼國家的燃料の革命
- ▼家庭經濟の合理化
- ▼特價金八圓五拾錢



(しな差大と油石段値ルーコルア)

本器の特長

- 一、便利重寶ガス、電氣のやうに管やコードを要せず、土器鐵器の様に重からず、石油厨爐の様に容積大ならず、持運び自由で體裁良し
- 二、經濟的「アルコール」を一旦「ガス」化して燃える爲め燃焼物の容積を膨大し火力熱量は類なく強大でありますから燃料が少料で安價に煮炊き出來ます時間は瓦斯より早い。

◎飯一升五合炊くに要する各種燃料比較實驗表 (昭和六年四月釜屋商店調)

四季の平均(アルミニウム製並二升釜使用)
一升五合に對する水の分量一升六合

用途 一般家庭用は勿論左記に利用下されば最も便利と思ひます。旅館。料理業。うどんそば屋。問別荘。病院。船舶(海上生活者)野

外一般用工業用
今回御便宜の爲にねん料アルコールの

ハカリ賣を初めました
精々御利用を願ひます
一升以上 一升二付 四十錢

釜屋商店
平町五丁目 電話九番九九番